



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東  
 コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松田 智博 (TEL) 048-771-7753  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	137,578	3.0	7,274	△14.0	7,389	△34.7	4,594	△36.0
2019年3月期第3四半期	133,555	9.5	8,460	△9.5	11,308	△1.9	7,177	△13.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,140百万円(△19.6%) 2019年3月期第3四半期 5,149百万円(△41.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	47.51	—
2019年3月期第3四半期	73.81	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	227,411	102,850	44.9
2019年3月期	213,786	100,533	46.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 102,206百万円 2019年3月期 99,830百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2020年3月期	—	8.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	1.3	11,000	△8.4	11,000	△28.2	7,000	△32.3	72.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2020年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」  
 をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期3Q	97,244,472株	2019年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	587,369株	2019年3月期	186,254株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期3Q	96,721,721株	2019年3月期3Q	97,239,368株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需に牽引される形で緩やかな回復基調が続いたものの、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題、中東情勢の不確実性の高まり等もあり、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。個人消費につきましては、消費増税に伴う駆け込み需要の反動や相次ぐ自然災害の影響で、一時的に落ち込んだものの、実質所得がプラスを維持しており、再び緩やかな増加基調に復帰する見通しです。通信販売業界におきましては、電子商取引（EC）による市場の拡大は依然として続いているものの、カタログ通信販売においては、用紙代高騰の影響など、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力4事業（総合通販事業・専門通販事業・店舗販売事業・プロパティ事業）の強化に取り組んで参りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は137,578百万円（前年同期比3.0%増）となりました。一方で、用紙代の値上げによる影響や、前期に取得したさが美グループホールディングス㈱において、費用が先行する第1四半期の損益が当期より反映されている影響などで営業利益は7,274百万円（同14.0%減）となりました。また、為替相場の変動による損益が前期とは逆にマイナスとなり、経常利益は7,389百万円（同34.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,594百万円（同36.0%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

#### 〔総合通販事業〕

用紙代の値上げに伴うカタログ等の発行部数抑制の影響などにより、売上高は58,127百万円（同5.0%減）となり、セグメント利益は1,816百万円（同46.0%減）となりました。

#### 〔専門通販事業〕

化粧品事業、ワイン事業を中心に好調に推移し、売上高は37,368百万円（同3.0%増）となり、セグメント利益は2,791百万円（同17.5%増）となりました。

#### 〔店舗販売事業〕

前期に取得したさが美グループホールディングス㈱において、費用が先行する第1四半期の損益が当期より反映される影響などで、売上高は22,947百万円（同19.1%増）となったものの、セグメント損失は5百万円（前年同期は483百万円のセグメント利益）となりました。

#### 〔ソリューション事業〕

通販代行サービス事業及び封入・同送サービス事業が共に好調に推移し、売上高は5,907百万円（同35.0%増）となり、セグメント利益は1,904百万円（同19.3%増）となりました。

#### 〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は3,252百万円（同14.6%増）となり、セグメント利益は1,373百万円（同5.5%増）となりました。

#### 〔プロパティ事業〕

前期に開業したホテルが売上に寄与したことなどにより、売上高は6,725百万円（同3.6%増）となりました。一方で、前期実施した販売不動産物件の売却が無かったことなどから、セグメント利益は434百万円（同18.1%減）となりました。

#### 〔その他の事業〕

卸売事業を展開するフレンドリー㈱が大ロクライアントの事業撤退などにより苦戦したものの、当社卸売事業においてインテリアの販売が好調に推移し、売上高は3,997百万円（同0.1%増）となりました。一方で、費用が先行して発生する衣裳レンタル事業の拡大の影響により、セグメント損失は746百万円（前年同期は659百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比7,604百万円増加し、106,849百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,799百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が3,098百万円、営業貸付金が2,593百万円、商品及び製品が2,196百万円、仕掛販売用不動産が1,314百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比6,020百万円増加し、120,562百万円となりました。これは主に建設仮勘定が3,151百万円減少した一方で、機械及び装置が7,071百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比13,624百万円増加し、227,411百万円となりました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比2,717百万円増加し、56,180百万円となりました。これは主に短期借入金が3,703百万円、未払法人税等が2,898百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が5,995百万円、未払費用が2,170百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比8,590百万円増加し、68,381百万円となりました。これは主に長期借入金が8,696百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比11,308百万円増加し、124,561百万円となりました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比2,316百万円増加し、102,850百万円となりました。この結果、自己資本比率は44.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、連結業績予想について見直しを行っております。詳細につきましては、本日（2020年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,071	20,272
受取手形及び売掛金	9,739	12,838
営業貸付金	23,781	26,375
有価証券	1,197	690
商品及び製品	20,855	23,052
原材料及び貯蔵品	1,464	1,276
販売用不動産	3,418	3,393
仕掛販売用不動産	6,662	7,977
その他	10,597	11,562
貸倒引当金	△544	△588
流動資産合計	99,244	106,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,960	29,546
機械装置及び運搬具（純額）	735	7,806
工具、器具及び備品（純額）	1,226	1,846
土地	43,646	43,888
リース資産（純額）	215	157
建設仮勘定	8,420	5,268
有形固定資産合計	83,204	88,514
無形固定資産		
のれん	2,293	2,292
リース資産	596	655
その他	8,364	8,792
無形固定資産合計	11,253	11,740
投資その他の資産		
投資有価証券	12,428	13,048
長期貸付金	1,799	1,775
破産更生債権等	206	177
繰延税金資産	1,585	1,244
その他	4,689	4,661
貸倒引当金	△626	△600
投資その他の資産合計	20,084	20,307
固定資産合計	114,542	120,562
資産合計	213,786	227,411

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,093	23,088
短期借入金	14,368	10,665
未払費用	10,043	12,214
リース債務	406	372
未払法人税等	3,652	754
賞与引当金	757	450
返品調整引当金	94	98
ポイント引当金	492	371
その他	6,554	8,165
流動負債合計	53,463	56,180
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	45,339	54,035
利息返還損失引当金	661	690
リース債務	425	454
退職給付に係る負債	236	175
役員退職慰労引当金	258	252
資産除去債務	914	927
その他	1,955	1,846
固定負債合計	59,790	68,381
負債合計	113,253	124,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,954	10,954
利益剰余金	80,816	83,910
自己株式	△167	△491
株主資本合計	102,215	104,986
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	672	1,037
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△2,988	△3,766
退職給付に係る調整累計額	△61	△43
その他の包括利益累計額合計	△2,385	△2,779
非支配株主持分	703	643
純資産合計	100,533	102,850
負債純資産合計	213,786	227,411

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	133,555	137,578
売上原価	58,416	58,059
売上総利益	75,139	79,518
返品調整引当金繰延差額	14	4
差引売上総利益	75,125	79,514
販売費及び一般管理費	66,665	72,240
営業利益	8,460	7,274
営業外収益		
受取利息	98	88
受取配当金	265	234
為替差益	594	-
デリバティブ評価益	1,334	-
その他	875	545
営業外収益合計	3,167	868
営業外費用		
支払利息	123	137
為替差損	-	20
デリバティブ評価損	-	46
減価償却費	71	14
支払手数料	30	447
その他	93	86
営業外費用合計	319	754
経常利益	11,308	7,389
特別利益		
投資有価証券売却益	370	165
受取和解金	-	88
特別利益合計	370	254
特別損失		
固定資産除却損	116	63
減損損失	-	3
投資有価証券評価損	285	-
投資有価証券償還損	-	15
特別損失合計	401	83
税金等調整前四半期純利益	11,276	7,560
法人税、住民税及び事業税	4,018	2,880
法人税等調整額	113	116
法人税等合計	4,131	2,996
四半期純利益	7,145	4,563
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△32	△31
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,177	4,594



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	7,145	4,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△929	365
為替換算調整勘定	△1,066	△806
退職給付に係る調整額	0	18
その他の包括利益合計	△1,995	△422
四半期包括利益	5,149	4,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,195	4,200
非支配株主に係る四半期包括利益	△46	△59

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	60,684	36,195	19,260	4,201	2,839	6,435	3,939	—	133,555
セグメント間の内部 売上高又は振替高	512	98	—	173	—	53	54	△893	—
計	61,196	36,294	19,260	4,375	2,839	6,489	3,993	△893	133,555
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	3,362	2,375	483	1,596	1,302	530	△659	△529	8,460

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳△118百万円とのれん償却費△411百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	57,780	37,267	22,947	5,782	3,252	6,648	3,900	—	137,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	347	101	—	124	—	76	97	△747	—
計	58,127	37,368	22,947	5,907	3,252	6,725	3,997	△747	137,578
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	1,816	2,791	△5	1,904	1,373	434	△746	△294	7,274

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳155百万円とのれん償却費△449百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。